

平成27年12月22日

府中市長 戸成義則 様

府中市行政改革推進委員会  
会長 平田光章

第4次府中市行政改革大綱（案）について（答申）

平成27年10月20日付け府人第86号で諮問のあった、第4次府中市行政改革大綱（案）については、慎重に審議した結果、次のとおり答申します。

（答申）

第4次府中市行政改革大綱（案）は、府中市の行政課題や多様化する市民ニーズと社会情勢の変化に対応し、市民サービス向上を図るための効率的な行政運営の方向性を示しており、概ね妥当と判断します。

行政改革大綱や重点項目の遂行にあたっては、厳しい財政状況に留意しつつ、質の高い市民サービスを提供するよう、行政改革の推進にむけて取り組んでいただきたい。

なお、審議する中で各委員から提案された意見を別紙のとおり取りまとめましたので、計画実施にあたっては十分配慮されることを希望します。

## 主要な意見

- 1 本大綱は、複雑多様化する行政ニーズに応え、市民サービスの向上を図るため、選択と集中を基本とし、効率的な行政運営を目指して取り組むことが必要である。  
行政改革を実現させるためには、職員の十分な理解と協力が不可欠である。  
経費削減を目的とするだけでなく、経営感覚を取入れて、無駄を省くことにより得られた財源・人的資源を基に、人口減対策、まちの活性化等市民サービス向上に、職員一丸となつての取組みに努められたい。
- 2 公共施設は、市民の利便性を主眼に、施設サービスの充実を図られたい。  
また、民間活力を推進する際には、サービス向上を念頭に置き、市民に丁寧な説明をするとともに職員の理解を得た上で、設置目的や効果を検証しながらサービス維持に努められたい。
- 3 市民協働により、住みやすいまちづくりの施策実現のため、積極的に情報発信を行い、市民と一体となつて取組まれたい。
- 4 備後圏域の他自治体との連携を図り、圏域全体の生活関連サービスの向上を図るための取組みに努められたい。
- 5 職員の人材育成及び能力向上に積極的に取組まれたい。また、チャレンジ意欲のある職員の育成につながる施策を講じられたい。
- 6 業務の見直し、効率化と併せて適正な人員配置を行うとともに、職員の意識改革を行い、時間の有効活用に努めること。  
また、職員の適正な評価の実施に努められたい。
- 7 大綱に基づく各重点項目を着実に実行するために、毎年度、進捗管理と検証を行い、計画達成に向けて取組みを図られたい。